平成２０年度　　事　業　報　告

総括報告

さいたま観光コンベンションビューローは、さいたま市及びその周辺地域における観光コンベンション事業の発展と普及をはかり、市民文化の向上と地域経済社会の発展に寄与すること等を目的とする団体として、今年度も会員をはじめ行政機関や関係団体との密接な連携の基に、積極的な事業の推進をしてきたところである。

しかしながら、アメリカに端を発する世界的金融不安が勃発し、消費不安、企業業績の悪化など、経済環境が目まぐるしく変化する中、観光業界も多難な時期を迎えており、当ビューローの事業活動を取り巻く経済環境も大変厳しいものであった。

平成１９年１０月にオープンした鉄道博物館は引き続き話題を集めており、開館１年で２００万人近くの入場者を達成し、全国からさいたま市への誘客をはかれる施設として注目を集めている。

このような中、当ビューローとしても情報発信機能の強化として、「もぎたてさいたま情報」及び「さいたま市に行ってみたくなる！ブログ」の一本化や、日本語トップページのリニューアルを行い、訪問意欲を高められるよう各種施策を行った。

観光イベント事業については、それぞれの特色を生かした各種イベントを開催。全て成功裡に開催することができ、ビューローが関連したイベントでは、入れ込み合計が２５８万人に達した。

コンベンション事業においては、誘致営業活動を強化するとともに、誘致実績も着実に推移しており、さらに県・市・関係団体と一体となった誘致体制の充実をはかっている。一昨年に国際会議観光都市の認定を受け、今後さらに各種会議の誘致に向け積極的な営業活動を推進している状況である。

例年実施しているコンベンション経済波及効果調査でも、１９年度の経済波及効果額は１５７億円余となり、コンベンション事業の推進が益々重要性を帯びてきている。

観光案内所の運営においては、ＪＲ東日本と共同で運営する大宮駅観光案内所を始め、さいたま新都心駅、北浦和駅、浦和駅前の４カ所の案内所において観光案内・情報提供をはじめ様々なサービスを提供し、年間利用件数は約３８万件であった。

また、自主財源の確保を目的に、新たな観光グッズとして、「さいたま市観光エコタンブラー」を作成し、観光案内所、各種イベント及びネット販売などで販売し、好評を博した。

事業別報告

i　観光事業

（１）観光振興事業

地域観光行事への助成、支援

・各種イベント、地域観光振興事業の協賛後援事業（大盆栽まつり・さいたま太鼓エキスパート・大歳の市（十二日まち）・大正時代まつり・与野七福神めぐり・大宮日進七夕まつり・うなぎまつり・コラボさいたま、咲いたまつり、岩槻まつり他）

・Ｊリーグチーム等への積極的支援及び協力

・海外姉妹都市との交流事業への協力

・友好都市との交流事業への協力

各種観光セールス、観光キャンペーン等への参加

・観光客誘致キャンペーンへの参加

２月１９日（木)、都道府県会館（平河町）で開催された「埼玉県観光交流会」に参加。さいたま市をＰＲし、誘致に努めた。

花の名所の維持管理

（２）観光物産振興事業

推奨土産品の広報及び販売経路の拡充、観光物産調査

２１・２２年度の推奨土産品の選定（５６品目）を行った。

（３）観光イベント事業

行 事 名	期　　日	場　　所	入込／参加人数
岩槻城址公園桜まつり	４／５・６	岩槻城址公園	入込36,000人
さくら草まつり	４／１９・２０	市役所・さくら草公園	入込市役所7,000人 入込さくら草公園 60,000人
ばらまつり	５／１７・１８	与野公園	入込180,000人
大宮薪能	５／２３・２４	武蔵一宮氷川神社境内・さいたま市民会館おおみや	鑑能者2,126人
氷川神社の茅の輪くぐりと植木草花市	６／３０	武蔵一宮氷川神社境内・参道	入込12,000人
朝顔市	７／６	岩槻愛宕神社	入込650人
与野夏祭り	７／１９・２０	与野本町通り周辺	入込230,000人
大宮夏まつり「みやはらまつり」	７／２０	宮原駅東口周辺	入込35,000人

浦和祭り（みこしパレード・南浦和会場・音楽パレード・浦和おどり）	みこし７／２０ 南浦和７／２０ 音楽・おどり ７／２７	浦和駅周辺 南浦和駅東口西口 浦和駅周辺	みこし入込 120,000人 南浦和入込62,000人 音楽入込60,000人 おどり入込110,000人
さいたま市花火大会 大和田公園会場	７／３０	大和田公園周辺	入込130,000人
大宮夏まつり「西口夏まつり」	７／３１	大宮駅西口周辺	入込20,000人
大宮夏まつり「スパークカーニバル」	８／１	大宮駅西口周辺	入込280,000人
大宮夏まつり「中山道まつり」	８／１・２	大宮駅東口周辺	入込280,000人
大宮夏まつり「大宮日進七夕まつり」	８／６・７	日進駅前通り周辺	入込150,000人
大宮夏まつり「東大宮サマーフェスティバル」	８／８・９	東大宮中央公園	入込30,000人
さいたま市花火大会 浦和競馬場会場	８／９	浦和競馬場	入込130,000人
さいたま市花火大会 岩槻文化公園会場	８／２３	岩槻文化公園	入込70,000人
大宮夏まつり「指扇まつり」	８／２３	指扇小学校	荒天のため中止
岩槻まつり	８／２４	岩槻駅東口周辺	入込100,000人
さいたま市民まつり	１０／１１・１２	さいたま新都心周辺	入込180,000人
クリーンさいたま釣りの祭典	１０／１９	びん沼川周辺	参加220件
十日市	１２／１０	武蔵一宮氷川神社境内・参道	入込170,000人
十二日まち	１２／１２	調神社とその周辺	入込130,000人
大宮Ｂｏｎｓａｉ大学	３／１４	見沼グリーンセンター	参加61人
合　計		入込計　2,582,650人	

（４）観光に関する調査研究

既存の観光事業の分析・検証

地域観光情報の基礎データベースの整理、観光資源の調査

半日観光ルート策定への協力

（５）事務局受託事業

ばらまつり、大宮夏まつり（前夜祭・西口夏まつり・スパークカーニバル・中山道まつり）、さいたま市花火大会

ii　コンベンション事業

（１）誘致・支援事業

コンベンション主催者へのセールス活動

「国際会議観光都市」として、ＪＮＴＯなどから国際会議情報が多くもたらされるようになった。誘致成功に至ったのは１件であるが、主催者に少しずつ認知されてきている。

また、引き続き各主催者団体のホームページ、その他情報類によりコンベンション開催地並びに役員名等の情報を分析し、本市開催の可能性がより高い団体に対して、県内キーマンや団体本部を中心に誘致セールスを行い、キーマンとのパイプも着実に増強されてきている。

来客者に対する主要駅への歓迎看板の掲出

ＪＲ大宮駅及びさいたま新都心駅の歓迎看板を活用し、また、浦和駅では歓迎幟旗を掲出し、本市来訪への歓迎の意を表し、コンベンション参加者への案内に役立たせることができたとともに、市民へホスピタリティ啓発のアピールを行った。

観光マップ、コンベンションバッグ等の提供

観光マップを４８件約３１，０００部（昨年４８件２４，０００部）、コンベンションビニールバッグを２９件１８，０００部（昨年２３件約１６,０００部)、紙製バッグを４件約４，０００部（昨年９件約３，０００部）提供し、本市開催のメリットをアピールした。

会員利用促進助成金の強化

５件９０万円を助成し、主催者がビューロー会員を利用するよう誘導した。

コンベンション開催準備資金貸付制度の実施

他の支援事業と併せ本制度の周知を図り、本市開催の誘致活動を行ったが、貸付を希望するコンベンションはなかった。

インターネットによるコンベンション情報の発信

支援メニューの充実等を図るとともに案内をわかり易くし、コンベンション主催者の利便性を高めた。

コンベンション開催時における推奨土産品販売所の出店

当ビューロー直接の臨時観光案内所設置は行なわなかったが、コンベンション会場への土産品販売所の設置や土産品のＰＲを行った。

産業観光、アトラクション情報等の提供及びシステムの拡充

アフターコンベンションのニーズに応えられるよう、特に産業観光施設の拡充を図ることができた。

推奨コンベンション弁当の周知

セールスパンフレット・ＨＰや施設見学会等で主催者に周知を図っている。

会場・観光地等の写真貸出システムの拡充

コンベンション主催者が宣伝周知用に作成するポスター等への活用を促進した。

その他コンサルティング

（２）ＩＭＥ出展事業

国際ミーティングエキスポ「ＩＭＥ２００８」への出展

１２月１７日（水）～１８日（木）、国際フォーラムにおいて、国土交通省、日本コングレス・コンベンション・ビューロー（ＪＣＣＢ）、及び日本政府観光局（ＪＮＴＯ）主催の「第１８回国際ミーティングエキスポ（ＩＭＥ２００８）」へ市内コンベンション施設の協力のもと出展し、さいたまブースに来場した主催者約４０名に対し、本市への開催誘致を図った。（全来場者数１，６８４名---但し、出展関係者を除く）国際会議の相談も４件受け、そのうちの１件は誘致に成功した。

（３）施設見学会事業

コンベンション施設見学会（年１回）の開催

・コンベンション施設見学会の開催

３月１６日（月）、ＩＭＥ２００８におけるさいたまブース来場者へのフォローアップ及び新規顧客の獲得を目的に、主催者・エージェント等を対象とした市内施設見学会（大宮ソニックシティ、さいたまスーパーアリーナ、農業観光施設・諏訪野、ジョン・レノン・ミュージアム）を開催し、２９団体４０名の参加をみたが、前年度とほぼ同数の参加団体及び人数の実績をあげることができた。

・コンベンション施設内覧会への協力

９月２２日（月）、財団法人埼玉県産業文化センター主催の「大宮ソニックシティ施設内覧会」へ職員を派遣し、支援内容の説明、観光スポットの案内等を行った。

（４）情報収集事業

コンベンションデータ（顧客名簿・開催意向等）の管理及び更新

分析調査及び誘致セールスで得た各種情報をデータベース化し、系統的セールス活動が行なえるよう管理、更新を図っている。

観光・コンベンション団体、関係機関との広域連携による情報収集

ＪＣＣＢ、全国コンベンション運営事業者協議会（ＣＰＡ）、日本ＰＣＯ協会の

総会及びＪＣＣＢ主催のコンベンションビューロー部会、研修会等に参加し、他市ビューローや業界関係者との情報交換を行った。

また、ＪＮＴＯ等のコンベンション推進団体による各種統計・アンケート調査等に対して随時協力した。

（５）経済波及効果調査事業

コンベンション開催による経済波及効果調査の実施

１９年度における年間開催件数及び年間経済波及効果を調査し、コンベンション事業に対する行政及び民間の理解と協力を働きかけるため、個別調査とともに報告書を作成し関係機関等に提出した。

個別コンベンション開催実績調査の実施

本市で開催されたコンベンションの実態を計数的に把握するため、２０年度に開催された個別のコンベンション（７件）における経済波及効果を調査した。

ⅲ　広報宣伝事業

（１）広報宣伝活動

観光情報誌「Ｓａｉ‘ｓ（さいず）の発行（年４回）

来訪者等へ向けた観光情報の広報宣伝を行った。（夏号＝６月、秋号＝９月、冬号＝１２月、春号＝３月：各１５，０００部発行）

各種観光マップ・ポスターの作成・頒布の実施

<Visitors Guide「さいたま市に行ってみたくなる！観光ガイドブック」の発行（増刷分）>（３０，０００部）

<観光マップ「ポケナビさいたま」の発行（増刷分）>（３０，０００部）

<さいたま市観光カレンダーの発行>（１，５００部）

新聞・タウン誌、その他広告媒体による広報・宣伝の実施

媒体種別	掲載件数（）内は前年	
新聞	４７（３３）	プレスリリース回数 ３１回 （２９回）
タウン誌（紙）	７５（９７）	
専門誌	８（１０）	
雑誌	５４（３０）	
行政関連出版物	３８（１９）	
会報等	２０（１４）	
テレビ	４（５）	
ラジオ	４（５）	
ＷＥＢ	６０（４９）	
その他	１９（１７）	
合計	３２９（２７９）	

（２）インターネットによるシティセールス

インターネットによる国内外への誘致ＰＲ

・ホームページ「ｗｅｂ　Ｓ＠ｉ’ｓ（うぇぶさいず）」による国内外への誘致・ＰＲ

（日本語・英語・韓国語・繁体字・簡体字）

日本語版のリニューアル

・「さいたま市に行ってみたくなるブログ」「もぎたてさいたま情報」の統合

市民観光サポーターからの情報と、事務局で提供している２つのブログを一本化。

アクセス数（訪問者数）は昨年に比べ１１８．９５％増加し、７７万８千件、ページ閲覧数は１１０．７８％増加し、３２２万１千ページであった。

月	訪問者数（件）	ページ閲覧数（ページ）
平成２０年４月	５６，２１３	２３３，９１５
5月	６２，６８３	２７６，８８１
6月	５４，２３３	２１４，１６９
7月	１２２，０７５	４４５，６５２
8月	１０９，７１４	４０３，０５１
9月	５２，８６８	１７９，０３４
10月	５５，８６７	１８３，９５８
11月	５１，９７１	１５９，９３６
12月	５１，３０９	１６９，２４４
平成２１年1月	５６，３７１	２８０，９４３
2月	４８，３９１	３１０，３９９
3月	５６，４５０	３６４，１５５
合計 (昨年度)	７７８，１４５ （６５４，１５６）	３，２２１，３３７ （２，９０７，８９９）
前年比 1ヶ月平均 1日平均	１１８．９５％ ６４，８４５ ２，１３２	１１０．７８％ ２６８，４４５ ８，８２６

（３）第８回「さいたま市に行ってみたくなる！写真コンクール」の開催

第８回のテーマは、“花のある風景”を題材に、その写真を見た方がさいたま市に訪れたくなうような写真とし、７１名、２１７点の応募があった。また、入賞作品展示会をＤＯＭショッピングセンター（大宮駅西口）で３月５日（水）から３月１０日（火）まで開催した。

iv　観光案内所運営事業

（１）観光案内所等の管理運営

大宮駅観光案内所（ＪＲ大宮駅東西自由通路内)、さいたま新都心観光案内所（ＪＲさいたま新都心駅東西自由通路内)、北浦和観光案内所（ＪＲ北浦和駅東口前)、浦和観光案内所（ＪＲ浦和駅西口前）の運営

・観光案内業務

・各種パンフレット配布業務

・ビジット・ジャパン案内所のネットワークによる情報収集・発信

v　物品販売事業

（１）観光オリジナルグッズ等の販売による収益事業の推進

グッズ等売上６１８，７５０円（前年２７２，２００円）

新たな商品として、「さいたま市観光エコタンブラー」を制作した。

（２）公共施設等における自動販売機の設置による来遊者へのサービス事業の推進

年間売上３，１７２，４２６円（前年３，２３６，６５１円）

（３）その他、自主財源の確立に向けた取組

観光案内所による推奨土産品、観光グッズ、委託物品の販売業務、チケットぴあ業務販売手数料収入８，７０２，６４７円（前年１１，５３５，４３８円）

vi　その他

（１）情報収集事業

観光コンベンション団体、関係機関との広域的連携による情報収集

大都市観光協会連絡協議会への参加による情報交換

政令指定都市の観光協会、コンベンションビューロー等で組織する大都市観光協会連絡協議会へ参加。様々な施策や課題などについて情報交換を行った。

（２）会員サービス事業

会員相互の交流の場の提供及び会員名簿の作成

新春賀詞交歓会を平成２１年１月１３日（火）にパレスホテル大宮で開催。来賓７名、会員１４４名の参加があった。

功労者・優良従業員表彰制度の実施

観光コンベンション事業に功績のあった功労者５名、事業従事者１名を平成２０年６月１９日（木）開催の通常総会にて表彰した。

会員ステッカーの配布

総務企画委員会の発案で新たに企画･作成した、会員向けステッカーを既存会員、新規加入会員に配布、店頭などに掲示を依頼した。

（３）その他

公益法人制度改革への対応

平成２０年１２月に施行された公益法人制度改革に関連し、各種セミナーなどに参加。情報収集を行った。

外郭団体の統廃合に向けた取り組み

さいたま市より平成２０年１２月に提示された「外郭団体基本方針」を受け、財団法人さいたま市国際交流協会との統合を検討することに関し、事務打ち合わせを行った。